# AccessReading学校/教員/団体申請フォーム

（日本語に通じない児童生徒用）回答収集シート

【新規】　AccessReading　学校/教員/団体で申請（日本語に通じない児童生徒用）

日本語の指導や支援が必要な児童生徒が在籍する学校等の機関で、

音声教材データを管理する場合が該当します。

（上記における）「日本語に通じない」とは：

「日本語に通じない」とは、文部科学省の定義によると、「海外から帰国した児童生徒や外国人児童生徒、その他主たる家庭内言語が外国語であるなど日本語以外を使用する生活歴がある児童生徒のうち、学校生活を送るとともに教科等の学習活動に取り組むために必要な日本語の能力が十分でない」ことです。

――次の注意事項を事前によくお読みください――

音声教材の提供は、該当の児童生徒が検定教科書を使用し、日本の教育課程を受けていることが条件になります。インターナショナルスクールや現地校のみに在籍する児童生徒は、音声教材をご利用いただけません。
文部科学省が認定した在外教育施設以外からのお申込みには、AccessReading事務局から確認のご連絡をさせていただく場合がございますこと、予めご了承ください。
補習授業校からのお申込みの場合は事務局にご相談ください。

「音声教材を利用する児童生徒の状況」の質問項目19～29につきましては、

JSL対話型アセスメント（DLA：外国人児童生徒のためのJSL対話型アセスメント）等を実施される専門知識のある方が、児童生徒や保護者とご相談の上、ご記入ください。

DLA：<https://www.mext.go.jp/a_menu/shotou/clarinet/003/1345413.htm>

ファイル公開日：令和6年10月2日

東京大学

先端科学技術研究センター

社会包摂システム分野

## 音声教材を利用する児童生徒の情報

日本人学校や補習授業校からお申し込みの際、日本の学校に児童生徒の学籍がある場合、
質問項目3～10は、日本の学校についてご回答ください。

1. 児童生徒の氏名　【必須】

学校申請の場合は、番号等で匿名化していただいて構いません。

1. 児童生徒の氏名　ふりがな　【必須】
学校申請の場合は、番号等で匿名化していただいて構いません。
2. 学年　【必須】

申請フォーム**送信時点での**学年を選択してください。

[ ] 小学　　　　　　　　　年生

[ ] 中学　　　　　　　　　年生

[ ] 高校　　　　　　　　　年生

[ ] その他（　　　　　　　　　）

1. 留学生ですか？【必須】

[ ] 留学生です。
[ ] 留学生ではありません。

1. 学校種別　【必須】

[ ] 小学校

[ ] 中学校

[ ] 義務教育学校

[ ] 高等学校

[ ] 中等教育学校

[ ] 専修学校高等課程

[ ] 高等専門学校

[ ] 特別支援学校

[ ] 各種学校

[ ] 高等学校通信教育

[ ] 高等学校通信教育＋サポート校利用
[ ] 日本人学校
[ ] 補習授業校
[ ] 私立在外教育施設

[ ] その他　（　　　　　　　　　　　　　　　　）

1. 在籍学級【必須】

[ ] 通常学級（通級指導を受けていない）

[ ] 通常学級（通級指導を受けている）

[ ] 通常学級（特別支援教室を利用している）
[ ] 通常学級（国際教室を利用している）

[ ] 特別支援学級

[ ] 特別支援学校
[ ] 国際学級

[ ] その他　（　　　　　　　　　　　　　　　　）

1. 学校の所在地　【必須】

高等学校通信教育で、サポート校を利用している場合は、サポート校の所在地をご回答ください。

高等学校通信教育で、サポート校を利用していない場合は、スクーリングの実施施設の所在地をご回答ください。

[ ] 　　　　　　　　　　　　　　　　都・道・府・県

[ ] 海外

[ ] その他　（　　　　　　　　　　　　　　　　　）

1. 在籍学校名　【必須】
2. 学校の住所　【必須】

〒郵便番号、都道府県、市区町村、町名番地等、建物名をご記入ください。

1. 学校の電話番号　【必須】
2. 申請フォーム入力者の氏名（フルネーム）　【必須】
3. 申請フォーム入力者の氏名（フルネーム）　ふりがな　【必須】
4. 申請フォーム入力者と連絡がつくメールアドレス　【必須】
5. 音声教材を利用する児童生徒と申請フォーム入力者の関係　【必須】
[ ] 通常学級担任

[ ] 通級指導教室担当

[ ] 特別支援教室担当

[ ] 特別支援教育コーディネーター

[ ] 特別支援学級担任

[ ] 特別支援学校担任

[ ] 学校の管理職

[ ] 医療・療育等の支援機関
[ ] 日本語指導担当教員
[ ] 日本語指導補助者
[ ] 母語支援員

[ ] その他（　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　）

1. 申請フォーム入力者の所属学校・団体の種別【必須】

[ ] 小学校（国公立）

[ ] 小学校（私立）

[ ] 中学校（国公立）

[ ] 中学校（私立）

[ ] 義務教育学校（国公立）

[ ] 義務教育学校（私立）

[ ] 高等学校（国公立）

[ ] 高等学校（私立）

[ ] 中等教育学校（国公立）

[ ] 中等教育学校（私立）

[ ] 専修学校高等課程（国公立）

[ ] 専修学校高等課程（私立）

[ ] 高等専門学校（国公立）

[ ] 高等専門学校（私立）

[ ] 各種学校

[ ] 高等学校通信教育

[ ] 医療機関

[ ] 教育相談機関

[ ] 支援機関
[ ] 日本人学校
[ ] 補習授業校
[ ] 私立在外教育施設

[ ] その他（　　　　　　　　　　　　　　）

1. 申請フォーム入力者の所属学校・団体名
2. 他の音声教材等のこれまでの利用状況【必須】

（複数選択可）

[ ] 利用していない

[ ] マルチメディアデイジー教科書（日本障害者リハビリテーション協会）

[ ] 音声教材BEAM（NPO法人エッジ）

[ ] ペンでタッチすると読める音声付教科書（茨城大学）

[ ] UD-Book（広島大学）

[ ] UNLOCK（愛媛大学）

[ ] PDF版拡大図書（慶應義塾大学）

1. 他の音声教材等の利用年数・教科書
項目19においてチェックを付けた団体ごとに、小・中・高何年生のときに利用していたかをご記入ください。

## 音声教材を利用する児童生徒の状況

申請後に、AccessReading事務局から入力情報についての確認をさせていただく可能性が
ございます。
読みの困難さに関する項目の記入責任者は、JSL対話型アセスメント（DLA）の実施者等、専門知識のある方と連携の上、ご記入ください。

1. 読みの困難さに関する項目の記入責任者の氏名（フルネーム）　【必須】

確認のため連絡をとらせていただくことがあります。

1. 読みの困難さに関する項目の記入責任者の所属・職名　【必須】
2. 読みの困難さに関する項目の記入責任者と利用者の関係　【必須】

[ ] 通常学級担任

[ ] 日本語指導担当教員
[ ] 日本語指導補助者
[ ] 母語支援員

[ ] 通級指導教室担当

[ ] 特別支援教室担当

[ ] 特別支援学級担任

[ ] 特別支援学校担任

[ ] 通常学級担任

[ ] 巡回相談員

[ ] 特別支援教育コーディネーター

[ ] スクールカウンセラー

[ ] スクールソーシャルワーカー

[ ] 医師

[ ] その他　（　　　　　　　　　　　　　　）

1. 読みの困難さに関する項目の記入責任者の電話番号　【必須】
2. 読みの困難さに関する項目の記入責任者のメールアドレス　【必須】
3. 児童生徒の母語【必須】
4. JSL評価【必須】

JSL対話型アセスメント（DLA：外国人児童生徒のためのJSL対話型アセスメント）を実施し、「JSL評価参照枠＜全体＞」の結果を選択してください。

下記の項目は、DLAのJSL評価参照枠に基づいています。その他の方法により日本語の力を判定している場合は、相当するステージにチェックの上、次項目に詳細を記入してください。

[ ]  1　学校生活に必要な日本語の習得がはじまる

[ ]  2　支援を得て、学校生活に必要な日本語の習得が進む

[ ]  3　支援を得て、日常的なトピックについて理解し、

学級活動にも部分的にある程度参加できる

[ ]  4　日常的なトピックについて理解し、学級活動にある程度参加できる

[ ]  5　教科内容と関連したトピックについて理解し、授業にある程度の支援を得て

参加できる

[ ]  6　教科内容と関連したトピックについて理解し、積極的に授業に参加できる

1. 【JSL対話型アセスメント（DLA）以外を使用した場合】 日本語能力の判定の詳細
2. JSL対話型アセスメント（DLA）の実施者【必須】

氏名、所属、使用者との関係をご記入ください。

1. 児童生徒の読みの困難さ　【必須】

（複数選択可）

[ ] 01.　読み誤りがある（不正確な読みをする）

[ ] 02.　逐次読みになってしまう（文字を一つ一つ拾って読んでしまう）

[ ] 03.　勝手読みをしてしまう

（字を飛ばしたり足したりして、間違った読み方をしてしまう）

[ ] 04.　特殊音節（きゃ・ぎゃ等）を読むのが苦手

[ ] 05.　ひらがなを読むことが苦手

[ ] 06.　カタカナを読むことが苦手

[ ] 07.　漢字を読むことが苦手

[ ] 08.　英語を読むことが苦手

[ ] 09.　単語の切れ目が分かりづらい

[ ] 10.　小さな文字を読むことが苦手

[ ] 11.　読むことに時間がかかる

[ ] 12.　文章を集中して読むことが苦手

[ ] 13.　文章の内容を理解することが苦手

[ ] 14.　文章を読むと、他の人より疲れてしまう

[ ] 15.　ページめくり、抑え等、紙の教科書で必要な動作が苦手

[ ] 16.　視力が悪い

[ ] 17.　視野が狭い・視野の一部が見えにくい

[ ] 18.　まぶしく感じる

[ ] 19.　薄暗くなると見えにくい

[ ] 20.　色の区別が難しい

[ ] 21.　目が揺れてしまって見えにくい

[ ] その他　（　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　）

1. 読みの困難さに関する補足

例）

・読みの速度が極端に遅いため、音声教材による特別支援が必要

・弱視のため、文字が見えづらい

・肢体不自由のため、ページめくりが難しい

・日本語が第二言語のため、日本語の指導や支援が必要

## 同意事項確認

以下は，AccessReadingを利用するにあたって，同意していただく必要がある内容です。

音声教材を利用する児童生徒と一緒に内容をご確認いただき，承諾をお願いいたします。

児童生徒と保護者の方には、以下の同意事項確認のPDFもご活用ください。
・やさしい日本語版
・英語版
・中国語版

1. １．目的外利用及び第三者への流出の禁止　【必須】
	1. 音声教材等の利用は、障害により通常の検定教科書等では文字等を読むことが困難な児童生徒と日本語の指導や支援が必要な児童生徒の学習用途に限定されます。
	2. 音声教材等の教科書データやその閲覧システムは、障害により読むことに困難のある児童生徒と日本語の指導や支援が必要な児童生徒のみが使用できます。その他の者が音声教材等を使用することはできません。
	3. 音声教材等のデータ等を許可なく複製したり、第三者へ譲渡したりすることは禁止します。音声教材等のデータ等は、責任をもって管理してください。また、共用の端末など、不特定多数の者が利用できる環境に音声教材等をダウンロードしないでください。
	4. 音声教材等を使用するために付与されたログイン名及びパスワード等の情報について、第三者へ流出することがないよう、責任をもって管理してください。ログイン名及びパスワードが漏洩したり、第三者に使用されたりしていることが発覚した場合には、直ちにその旨をAccessReading事務局へ連絡し、指示に従ってください。
	5. 上記のような不正な利用が認められた場合、音声教材等の利用を即時に停止いたします。また、不正により著作者等に生じた損害の賠償については、不正を行った者が負担するものとします。

[ ] 同意する

1. ２．利用上の留意事項　【必須】
	1. 音声教材等は原則として無償でご利用いただけます。ただし、閲覧に必要なネットワーク環境、端末やソフトウェア等は、利用者の負担で準備していただく必要があります。
	2. 音声教材等は文部科学省の委託事業により製作・提供しているため、音声教材等の使用にあたって、アンケートへの回答、使用状況に関する報告、学校見学（個別にご相談いたします）への協力、事業報告書・製作団体HPへの使用状況等の記載の許可等についてお願いする場合があります。ご協力をお願いいたします。

[ ] 同意する

1. ３．個人情報等の保護方針　【必須】
2. 音声教材等製作団体は、音声教材等の提供申請のために提供された個人情報等は、以下の目的のために使用し、それ以外の目的には使用しません。
・　音声教材等の提供・利用に関する手続きや提供システムの運営管理
・　文部科学省委託事業の実施に係る文部科学省への報告（音声教材等を提供した児童生徒が所属する学校名・学年・教科・教科書情報等）
・　利用者への音声教材等使用状況等に関するアンケート配布及び集計
3. 上記のほか、提供された情報やアンケートの結果は、個人を特定されない形で、音声教材等の研究・開発や普及活動、利用者支援活動等において使用する場合があります。

[ ] 同意する

1. ４．音声教材等を使用する皆さんへ（児童生徒向け）　【必須】

音声教材等は、教科書の文字を読むことに困っている方と日本語を読むことに困っている方のために製作しており、使い方についてのルールがあります。ルールを守って音声教材等を使ってください。

【音声教材等を使うときのルール】

1. 音声教材等を、自分以外の人に使わせることはできません。コピーして渡したり、インターネット上にアップロードしたりしてはいけません。音声教材等を使うためのIDやパスワードは、他の人に教えないでください。（先生や保護者の方に使い方を教えてもらう、助けてもらうときなど、必要なときには問題ありません。）
2. 許可なく音声教材等のデータを加工して別の書籍データを作ることや、それを他の人に見せたり、渡したりすることはできません。
3. 音声教材等のデータを他の人に渡してしまったときや、ID・パスワードなどが他の人に知られてしまったときは、先生や保護者の方に相談してください。
4. 音声教材等を使うときには、音が出ます。また、教材によってインターネット通信料がかかる場合があります。いつ、どこで音声教材等を使ってよいか、先生や保護者の方に相談してから使うようにしてください。
5. 音声教材等を使った感想などについてのアンケートをお願いすることがあるので、協力してください。

[ ] 同意する

1. 音声教材等の提供を受けるにあたり、上記の事項に全て同意し、遵守しますか。　【必須】

[ ] 同意事項について承諾します

1. 承諾年月日　【必須】
2. データ管理責任者の氏名（フルネーム）　【必須】

データの安全な利用のために，データ管理責任者は，原則として音声教材の利用者と同じ所属の方にお願いしております。

1. データ管理責任者の所属　【必須】
2. データ管理責任者の職名　【必須】
3. AccessReading事務局への連絡事項

ありましたら、ご記入ください。

## アンケート

1. 音声教材を利用する児童生徒の登校状態

[ ] 学校に行っていない状態が一定期間以上ある（年間30日以上）

[ ] 学校に行っていない状態が一定期間以上ある（1週間以上など一定程度学校に行っていない）

[ ] 学校の校門・保健室・校長室等にはいくが、教室には行かない

[ ] 基本的には教室で過ごすが、授業に参加する時間が少ない

[ ] 基本的に毎日学校に通っている

1. AccessReadingを知ったきっかけ

（複数選択可）

[ ] 在籍校の教職員からの紹介

[ ] 在籍校以外の教職員（巡回指導の先生など）の紹介

[ ] 医療・支援機関関係者からの紹介

[ ] 親の会からの紹介

[ ] デイジー教科書等他の音声教材製作団体からの紹介

[ ] 知人の紹介

[ ] LD学会等での展示

[ ] AccessReading主催のイベント

[ ] 近藤武夫の講演

[ ] 上記以外の講演

[ ] DO-IT Japanからのお知らせ

[ ] インターネットでの検索

[ ] Facebook、X（旧Twitter）等のSNS

[ ] その他（　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　）

1. AccessReadingに申し込む決め手となったことを詳しくお聞かせください。
2. 音声教材の利用予定端末　【必須】

使用予定のない端末は「使用しない」を選択してください。

|  |  |  |  |  |
| --- | --- | --- | --- | --- |
|  | GIGA端末 | 私物 | その他 | 使用しない |
| iPad |[ ] [ ] [ ] [ ]
| iPhone |[ ] [ ] [ ] [ ]
| Mac |[ ] [ ] [ ] [ ]
| Windows |[ ] [ ] [ ] [ ]
| Chromebook |[ ] [ ] [ ] [ ]
| Android |[ ] [ ] [ ] [ ]
| その他 |[ ] [ ] [ ] [ ]

1. 【その他を選択した場合】音声教材の利用予定端末

質問項目43「音声教材の利用予定端末」について、その他を選択した場合にご記入ください。

1. 音声教材の利用環境　【必須】

【オンライン】

常にWi-Fiに接続されている環境でいらっしゃったり、辞書機能の活用や、Wordオンラインなどブラウザ上での使用を予定されている方は、こちらにチェックをお願いいたします。

【オフライン】

ファイルをダウンロードして利用する必要があります。

音声教材のダウンロード時はオンラインである必要があります。

【オンライン・オフライン併用】

併用して利用することがある場合選択してください。

[ ] オンライン

[ ] オフライン

[ ] オンライン・オフライン併用